

## 第3回理事会 報告書

日時：2014年9月6日(土) 13:00~17:00

場所：東京鐵構工業協同組合 事務局

出席者：長谷川(青森)・井上(北海道)・渡辺(埼玉)・山城(京都)・上原(香川)  
松田(東京)・平賀(岩手)・大聖(富山)・中辻(宮城)・多和田(岐阜)  
伊藤(三重)・内田(大阪)・大塚(兵庫)・長谷川(島根)・稲森(鹿児島)

以上15名

オブザーバー：田中様 [(株)鋼構造出版]・山本様 [(株)産業新聞社]  
石原様 [(株)イシハラ]・阿部様 酒井様 [旭化成建材(株)]

以上5名

### ○開会

### ○出席者の確認

### ○会長挨拶

皆様、まだ暑さの残る中、東京理事会へご参集頂きましてありがとうございます。  
各WGにおきましては、第2回理事会での予定を消化していき、具現化に向けた詰めの作業へ入  
りたさげたいと思います。  
我々を取り巻く環境は繁忙期が本格的になってきております。  
どの地域も大変忙しい状況ではありますが、今をこなすだけになっているのではなく、  
10年後20年後を見据えたところで、今何をすべきかを考え抜くことが大切ではないでしょう  
業界全体の不安要素や危惧すべき状況を全体から捉える必要があります。  
他方各社が抱えておられる問題は地域特性などもありそれぞれ不安要素も危惧する内容も異なつ  
ていると思います。  
各社が現状をしっかりと分析し、強い会社を作らなければなりません。  
その為にもこの理事会15名が上辺だけでなく、  
思いや悩みを曝け出してきちんと勉強していくことが来るべき不況を乗り越える体制づくりに  
繋がると思います。  
この様なことを踏まえ、本日の理事会におきましてはみなさんの忌憚ない、  
活発な討論を交わして頂き、有意義な理事会にして頂きたいと思っております。

### ○各地助成金事業申請及び審議事項

中部ブロックより提出された助成金申請を協議。承認された。  
中国ブロックより提出された助成金申請を協議。承認された。  
四国ブロックより提出された助成金申請を協議。承認された  
東北ブロックから助成金申請書が後日、提出される。  
北海道ブロックより提出された助成金報告を協議。承認された。  
各地助成金事業申請がなされていないブロックについては、各ブロックにおいて検討する。

### ○各地活動報告

#### 各ブロック理事

北海道ブロック(井上副会長)  
東北ブロック(中辻理事)  
関東ブロック(渡辺副会長)  
北陸ブロック(大聖監事)  
中部ブロック(多和田理事)  
近畿ブロック(内田理事)  
中国ブロック(長谷川理事)  
四国ブロック(上原副会長)  
九州ブロック(稲森理事)

各地活動報告詳細はHPに掲載

### ○会長総括

総括させていただきます。まず、皆さんにおきまして、ただ忙しいというだけではなく、  
商工会議所や政府系金融機関が発表している公共工事、設備工事の投資額の動向

を見るくらいの情報量を持って頂きたいと思います。

例えば東北六県の設備投資額の3月末の発表と4-6月の投資額の結果はほぼ変わりがなく、ほぼ正しい数値を示しています。

これも根拠の一つに戦略を立てて山積みを組んでいきますと、変化に動じない経営の足掛かりになるのではないのでしょうか。

また地域特性を活かした営業力にもなると思います。

山城理事から話がありました全青会会員相互の繋がりを通した山積み調整の

土俵づくりの構想を各理事は各ブロックへ持ち帰って頂きたいと思います。

ローパルのライセンスは施工者と施工管理者が同一のライセンスとなっていますので、とても効率的なものではないのでしょうか。

北陸ブロックの「次世代をつくるための催し」は頑張っ頂きたいと思います。

・上原理事より「野球型経営・サッカー型経営」の内容説明を会長より求められ、上原理事よりその説明があった。

#### ○全国大会(沖縄大会)進捗状況報告

稲森理事より以下の通り進捗状況報告を行った。

開催日 平成27年4月11日(土)

開催地 沖縄県「サザンビーチホテル&リゾート沖縄」

・上記の通り

・理事会、会長会議の開始時刻については後日、早めに確認の上決定していく。

・ご来賓の沖縄県知事、糸満市長については現時点打診中であるが、選挙後という事もあり、副知事のご参加、市長のご参加という可能性が高い。

・総会も含めた沖縄大会のドレスコードは「かりゆし」着用を全構協の承認のもと決定していく(全青会会長より全構協へ許可打診)

・記念講演 金城浩二氏

・懇親会は屋外より屋内へ移動となるため1部、2部という構成が好ましい。(協議)

※1アルコールの出るタイミングの兼ね合いも考慮(プレオープニング)

※2屋外会場はホテル施設ではなく、第三セクターの営業である。

・全青会が一同に会する場において出来る限り多くの方が共に懇親を深められる場に

注力する必要があるのではないかと。(単独行動にならないような催し)

・9月末までに、予備登録前の事前の参加人数把握を各ブロックの理事を経由して

各都道府県会長より報告していただく。(10月予備登録11月以降本登録開始)

・可能であれば前回仙台大会での御来賓挨拶スピーチをサンプルとして

沖縄大会御来賓へ渡したい。(要望)→決定(スピーチ作成の際の参考とされたい)

・ゴルフ会は前日金曜日に開催の運びとした方が良いのではないかと?月曜日の業務に支障がない流れを模索してほしい。

・翌日のサンゴの植え付け体験の時間は調整するが難しい状況にある。

・3役会を2月7日、8日に沖縄県に於いて開催する。(決定)

(福岡の予算で沖縄迄の足らない部分は3役自己負担の可能性あり)(会長)

#### ○各WGの討議及び報告

各WGにおいて討議を行い、以下の報告を行った。

総務広報WG 以下、井上副会長より報告がなされた。

●活動報告の近況と市況の部分について、近況はHPにUPしても良い内容であるが、市況についてはHPへのUPは支障があるので、今後活動報告のフォーマットを検討していく。

●EMGについて、EMGに現在会員内での利用状況について報告してもらう。

●会員がHPを閲覧されていないことが多いので、HP上でクリックすれば会長MLのように配信される仕組み、またリンクを貼り付ける等して、HPの活性化に努めたい。

●鋼構造ジャーナル様の紙面において全青会のコラムを作れないか、進めていく。

の際に、各WGからコラム上の内容を提供してほしい。

経営WG 以下、上原副会長より報告がなされた。

●財務の勉強として企業格付けスコアリングシート(財務分析を自社とする)を会員全社で取り組んでいきたい。そのための説明文を次回理事会までに作成する。

自社の安全性、収益性、債務返済能力等を自社で把握して頂きたい。(公開することなく)

次回理事会で書面等の承認を受けた後、全会員へ発信していきたい。

今年度中にこれを行い、質問に対するその解決ルートを構築していく。

鋼構造ジャーナル様の記事として取組を取材してもらいたい。

次年度、この過程を経て財務の勉強の必要性を分かって頂いた上で財務の

講習会を開催していきたい。

景気の比較的良い時こそ、正しい資本投入の仕方を学ぶ必要がある。

●人材不足について各会員企業の社員が交流を持てる場を提供していきたい。

また、女性が入りやすい職場環境の整備をしていきたい。

ポリテクセンターと協同して進めていきたい。

●経営WG内で2回、WGの打ち合わせを大阪 or 高松で行いたいと考えている。

その際の交通費を理事会予算で捻出できないか。(検討)

技術WG 以下、渡辺副会長より報告がなされた。

●鉄骨110番の応募方法のフォームを変える。次回理事会までにそのフォーマットを作成する

●EGタブ推進については、EGタブ使用のメリットとデメリットを募り、それに対して旭化成建材(株)様より回答をいただき、それを基として最終的に講習会資料となるようにしてい

●JSCAについては、各ブロックの活動の状況を調査し、

今後の各ブロックの活動促進に寄与できるように報告していきたい。

調査研究WG 以下、山城副会長より報告がなされた。

●商社との契約の方法について、まずい契約形態をフローチャートにてまとめる。

まとめ次第にも理事会の中で回覧していく。

●FAB間の山積みについて、山積みを組合のネットワークを通じて情報を共有し、相互に助け合い調整していける環境を整えたい。(人材バンクに通じるものもある) 対外的な情報収集にも役立つと思われる。

●商社との契約の中で、運送の問題が発生している。

関東物件受注の躊躇の理由として運送会社の関東物件鉄骨運送ばなれがある。

理由としては、荷下ろしが予定時間にできない等。鋼構造ジャーナル紙面でもこの問題を今一度取り上げて頂きたい。

FAB間相互のヤードの協力、商社に対して空いているヤードの紹介は有効ではないか。

(関東に拠点をつくり小運搬をかけていく等、空いているヤードの有効利用)

○長谷川会長WG報告の総括

・各WGにおいて、すべき事業の中で必要な予算は早めに報告検討要請して頂きたい。

各WGにおいて、討議の時間にも限りがあり十分討議できなかった場合には、懇親会の時間の個別に時間を捻出して十分討議して頂きたい。

・溶接欠陥サンプルについては、全青会の大切な財産であるが、固定の事務局を持たない全青会財産を持つのも今後の負担になりかねないため、然るべき有効利用できる団体へ寄付することを考えている。

サンプルの取得に関与された歴代理事の了解のもと現理事会の承認も次回理事会にとる。

・SASSTについて、3年間協同の事業としていたが、相互の方向性の違いによりこの事業を中止することとなった。

しかし、SASST単独の事業について、開催あれば、会員への周知の対応は有志参加前提で行

・全構協技術委員会からの要望で、全青会理事会メンバーの中から1名出向してもらえないかと打診があった。3役会の中で協議した結果、最初のみ長谷川会長、上原副会長の2名が出向するその後は、2年間の中で1名出向するが、人選、任期については次回理事会において理事へ報告できるようにしていく。

○その他

旭化成建材(株)阿部様 酒井様より

・FD支援金については、社内稟議が通ったので今期も同様に続けていく。

・EGアークタブが高知県内の公共工事において仕様書に明記はできないが、FAB経由で使用の打診があれば、性能上使用に問題ないとされた。

・EGアークタブの販売が少々落ち着いてしまっているが、問い合わせは増えてきている。

(株)イシハラ 石原様

・全構協「技能士の特記仕様について」の見解書について

・超音波探傷試験の判定基準について(EGアークタブの意味も含めて)

・工場灯LEDの紹介(安定器交換の不要な安価なLED灯)

○長谷川会長総括

・旭化成建材(株)様と(株)イシハラ石原様は陰ながら全青会をサポート頂いている理解者です。

理事名刺の裏面の広告の改良点を提案していきたい。また、旭化成建材(株)様には有効

にご利用いただきたい。

- ・ E Gアーケタブについて青年部会が広告しやすいものを用意して頂けると助かる。
- ・ 日本鉄鋼連盟において鋼構造建築の優れた点においてパンフレットが作成されている。対外的に案内するものを作られているが、本来これは全構協が作成するべきとも思います。内容はとても勉強になる有効なパンフレットであるので適任のWGと日本鉄鋼連盟が協同で今後進めていくのがよいと考える。

○(株)鋼構造出版 田中様、(株)産業新聞社 山本様より御挨拶を頂戴した。

○閉会

次回理事会の開催

日時：平成26年11月8日(土) 13:00~17:00

場所：大阪(なんば周辺) 場所未定